

平成27年度 音楽科 第2学年 年間指導計画

教科目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通じて、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け創造的に表現する能力を育てる。
- (3) 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

月	単元名・題材名	学 習 活 動
4	曲想の変化や声部の重なり方の理解と表現の工夫 「夢の世界を」「翼をください」	リズムの変化や音の重なり方によって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。
5	フーガ形式のおもしろさ 「フーガト短調」	主題がどのように使われているのかを探りながら「フーガ形式」の仕組みを理解することができる。
6	アカベラの魅力 「Kum Ba Yah」 「My Melody」	いろいろな歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいのちがいを感知取る。
7	合唱の喜び 学年・各クラスの合唱曲 「夏の思い出」 「夏の日の贈りもの」	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
9	動機の展開を伴う形式のおもしろさ 「交響曲第5番ハ短調」	モチーフ(動機)がどのように使われているのかを探りながら「ソナタ形式」の仕組みを理解することができる。
10	合唱の喜び 学年・各クラスの合唱曲	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
11	ギターに親しもう	ギターの音色の特徴を感じ取り、基本的な技能を身につけて表現を工夫する。
12	日本の歌の美しさ・世界各地の歌声の特徴 「荒城の月」「サンタルチア」 「花の季節」 世界の諸民族の音楽	歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら、曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫する。曲の特徴と声の音色との関わりを理解して鑑賞する。
1	日本の伝統音楽に親しもう 「勸進帳」	音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、そのよさの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫に生かしたりする。
2	舞台芸術と音楽 「アイダ」	音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、そのよさの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫に生かしたりする。
3	混声合唱へのステップ 「ふるさと」 「さくら草」	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
合計授業時数		35時間